

ユニバーサルデザインに ついて

長野県長野工業高等学校 建築学科

佐藤 蓮

陣之内 陸満

テーマ決定の理由

- 1、ユニバーサルデザインとSDGSとの関係を知りたかったから
- 2、どんなバリアフリー対策をしているのかを知りたかったから

ユニバーサルデザインとはすでにある障壁を取り除くバリアフリーに対して、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」という考えで製品などをデザインすること

ユニバーサルデザインの7原則

- 1、誰にでも使用でき、入手できること
- 2、柔軟に使えること
- 3、使い方が容易にわかること
- 4、使い手に必要な情報が容易にわかること
- 5、間違えても重大な結果にならないこと
- 6、少ない労力で効率的に、楽に使えること
- 7、アプローチし、使用するのに適切な広さがあること

S D G s 目標

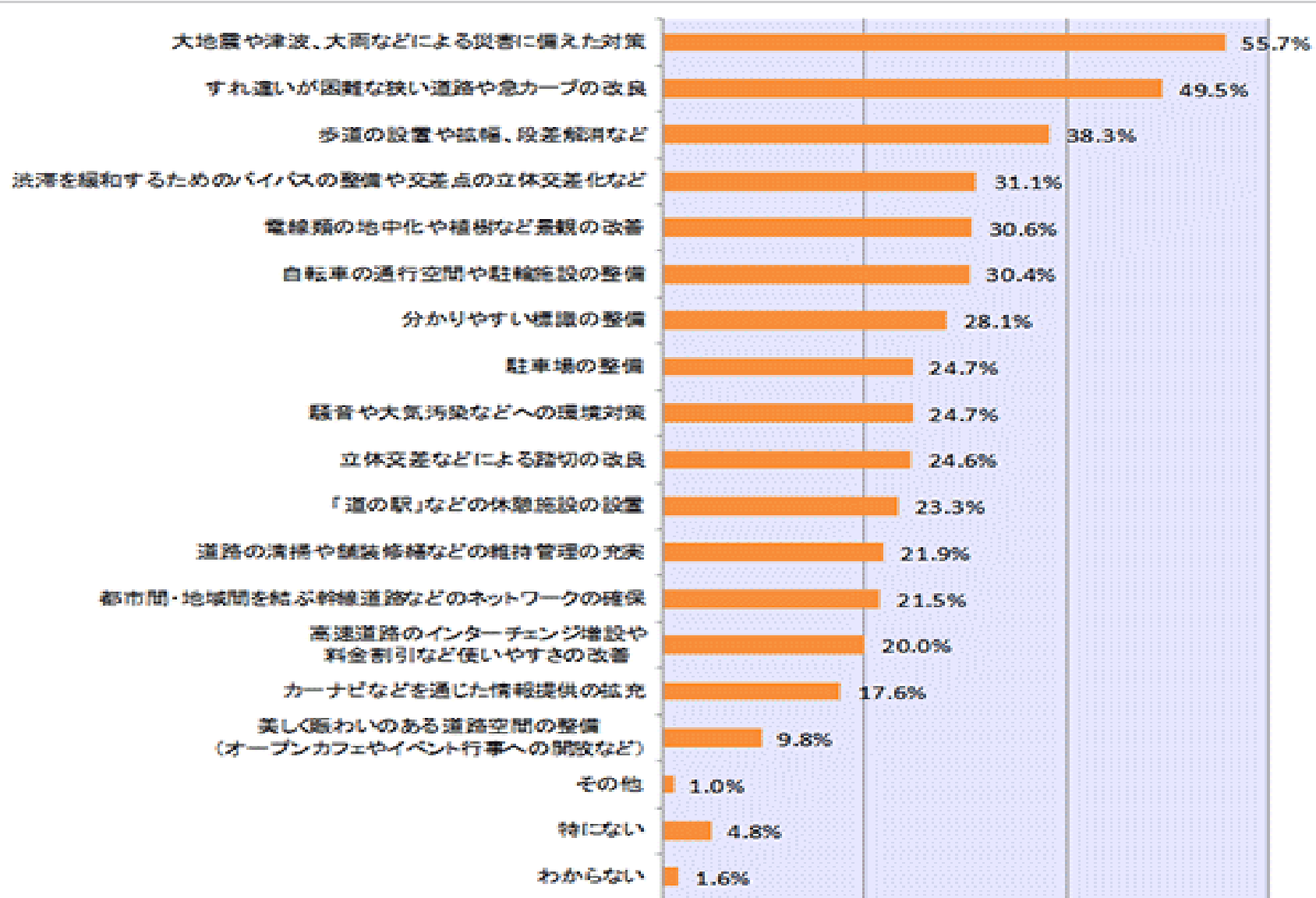
4、質の高い教育をみんなに

10、人や国の不平等をなくそう

11、住み続けられるまちづくりを



現状



総数(N=1,866人,M.T.=459.1%)

- 「歩道の拡幅や段差解消」は、今後必要な道路整備の中でも国民のニーズが高い

国土交通省



- 一方で、主要鉄道駅からユニバーサルデザイン化された歩行空間で到達可能な生活関連施設の割合は、約半数の駅で到達率が30%以下と低い

国土交通省

問題点

観光地域では現在もバリアフリー化を行っていない所が多いということが問題になっている

今後の課題

- ・市区町村が重点的に実施したい道路施策において「バリアフリー化の推進」の優先順位は低いこと。
- ・基本構想が作成されない主な原因は、「作成するための予算がない」「作成ノウハウがない」など。

ノウハウとは…やり方、方法や知識のこと

10代からの提言

市区町村で道路施策をする時は、
「バリアフリー化の推進」を優先してください

感想

日常生活ではあまりバリアフリーについて考えることがなかった。この学習を通して家や公共施設の設計をすることになった場合はバリアフリーのことも考えて設計していきたいと思いました。